

週間漁海況情報 2024年第45号

令和6年11月5日発行

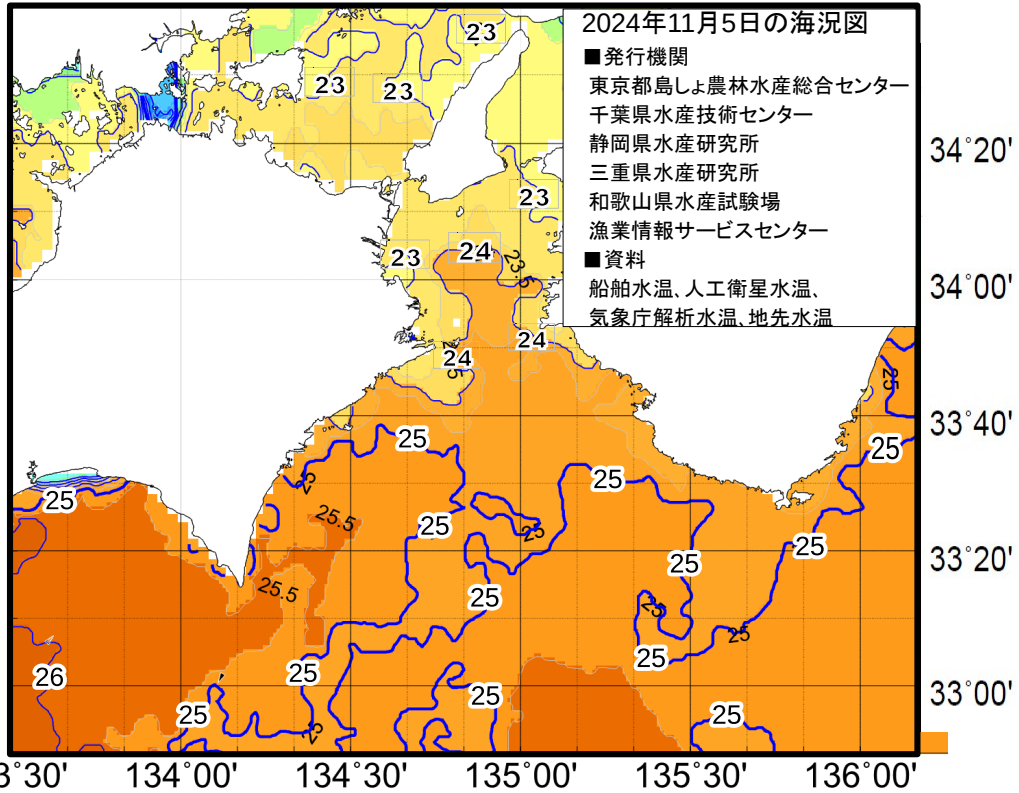
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖45マイル付近、潮岬沖90マイル付近を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。先週と比べて、室戸岬では約5マイル、潮岬では約30マイル接岸した。

黒潮の表面水温は26～27℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で22～23、紀伊水道で22～24、海部沿岸で23～25℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

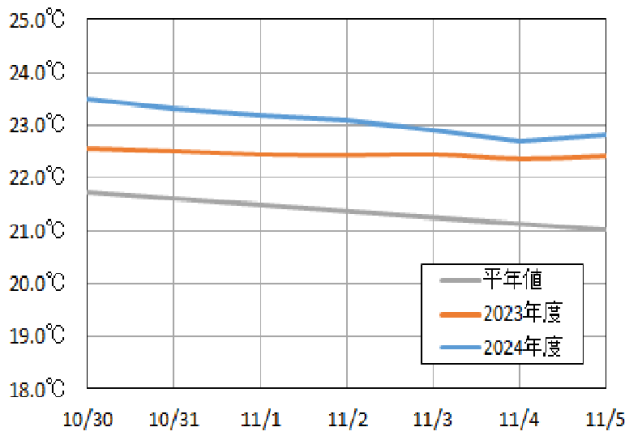
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(10月30日～11月5日)

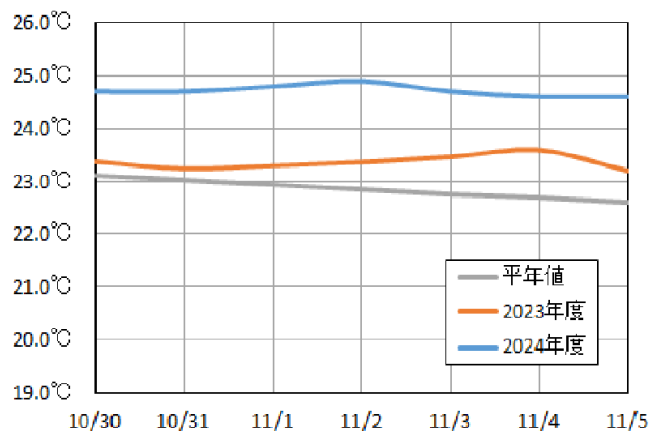
鳴門地区の水温は、22.7～23.5℃で「高め」、浅川地区は、24.6～24.9℃で「高め」で推移。

鳴門と浅川地区の水温差は1.2～1.9℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満， やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満， かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(11月6日～11月12日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、浅川地区とも「高め」で推移する見込み。

漁況 (10月28日～11月3日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って10.4ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が減って0.7ト、サワラが大きく減って0.5ト水揚げされた。

底びき網では、クマエビが減って1.3ト、ハモが減って中主体に1ト、えそ類が減って0.8ト、かます類が0.5ト、いとより類が増えて0.3ト、コウイカが増えて小主体に0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが減って大主体に0.7ト、メジナが増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マルアジが増えて小主体に1.1ト、マアジが減って0.7ト、

ブリが大きく減ってつばす級主体に0.7ト、イサキが大主体に0.6ト、

カンパチが大きく減って0.5ト、アイゴが減って0.5ト、マダイが0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく減って0.5ト、ブリが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が増えて中主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	46	シラス	10,395	226		↘
	延縄	29	あまだい類	730	25		↘
		21	サワラ	524	25		↘↘
	底びき網	22	クマエビ	1,256	57		↘
		23	ハモ	1,005	44	中主体	↘
		22	えそ類	820	37		↘
		22	かます類	465	21		→
		23	いとより類	332	14		↗
	建網	23	コウイカ	248	11	小主体	↗
		88	カワハギ	707	8	大主体	↘
	小型定置網	45	メジナ	227	5		↗
		12	マルアジ	1,105	92	小主体	↗
		16	マアジ	725	45		↘
		14	ブリ	683	49	つばす級主体	↘↘
13		イサキ	605	47	大主体	→	
13		カンパチ	503	39		↘↘	
16		アイゴ	457	29		↘	
海部沿岸	釣り	17	マダイ	238	14		→
		6	カツオ	513	85		↘↘
	10	ブリ	338	34		↗↗	
	延縄	5	あまだい類	245	49		↘
小型定置網	6	かます類	212	35	中主体	↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘